

止まった世界を動かし始める

今年度は103名の新入生を迎え、全校生徒315名で新しい1年をスタートしました。昨年度は新型コロナウイルスのため世界が一変し、臨時休校や諸行事の中止等で、生徒や保護者の皆様に多大なご迷惑をおかけすることになりました。学校再開後も、生徒の様子から、人と人が関わることや人に思いを伝えることの大切さを痛感する毎日でしたので、今年度は、生徒には『止まった世界を動かし始める』と呼びかけ、できるやり方で、できるところから活動を行っていきたいと考えています。

昨年度、生徒一人一人に各務原市からタブレットが貸与されました。「できるやり方」を工夫する強力な武器を得た気持ちでいます。タブレットを活用することによって、時間的な制限や空間的な制限を取り払って、学習や特別活動を充実させていきます。工夫次第で、昨年なら現地に行けず中止せざるをえなかった校外活動や学校に講師を招いてのインタビュー等も、代替できるところが増えるはずです。

その一方で、RCV（緑陽中コロナボランティア）等、保護者の皆様、地域の皆様には大変多くの場面で学校を助けていただき、例年以上に学校との距離が狭まりました。今年度も引き続き、この人と人の関わりを大切に、学校と家庭・地域が一体となって生徒の活動を支えていくことに努めていきます。

それらを通して、動き始めた世界の中で、ふたたび生徒たちが豊かな学びをし、笑顔で生活できる日常を取り戻せることを願っています。今年度もご支援のほどよろしくお願いいたします。

令和3年4月7日

各務原市立緑陽中学校長

